

便利なローラートレイ付広口容器(特許 第4386785号)の使い方

この容器はローラーバケが直接入り、天面のトレイ部分で塗料をしごくことができる画期的な容器です。下記の使用法にしたがってご使用下さい。使用するローラーバケはミドルローラーやスリムローラーが適しています。

使用方法

●使用前に容器を前後によく振り、中の塗料を均一にします。(フタが開くおそれがありますので、注意して下さい)

- ① フタが容器の中落ちないように、フタについているつまみを持ちながら、フタの矢印のところに両手の角の間に、マイナドライバーを差し込んでフタを開けます。フタの裏や容器の口の端に、半乾きの塗料がついていることがありますので、漉し取ったウエスでふき取り、フタは保管しておきます。
- ② 右のようにラップでおおっておくと、洗う手間が無くなり後始末が簡単です。
- ③ 棒などで容器の底までよくかき混ぜ、塗料を均一にします。
- ④ ローラーバケを容器の中に入れてローラー部分に塗料をつけます。
- ⑤ 天面のトレイ部分でローラーを転がし、塗料をまんべんなくまぜて塗装します。
- ⑥ 塗装終了後は、トレイ部分や容器の口の周囲に付着した塗料をウエスなどでふき取り、軽くフタをした後、両手親指でフタの両端を強く押してフタを閉めます。②のようにあらかじめラップをしておくと、ラップを捨てただけでほとんど汚れずに後始末が簡単です。

容器をラップでおおう方法

- ②-1 サグ手はトレイ部の方へ倒した状態で、ラップを容器の天面より木きめにカットし、左の天面全体をおおいます。(ポリ塩化ビニル製のラップをお使い下さい)
- ②-2 ラップを容器の天面にフィットするように軽く押さえ密着させ、余ったラップを右側に巻きつけます。
- ②-3 容器の口の部分のラップにカッターナイフなどで切り込みをいれ、ローラーバケが入るようにします。カットしたラップは容器の口の内側へ巻き込みます。
- ②-4 サグ手を持って場所を移動する時は、トレイ部のラップを容器の口の方へめくりあげてサグ手を持って下さい。再度、塗装する時はサグ手をトレイ部へ倒しラップも元に戻して下さい。

使用上の注意

1. 塗装下地に腐敗、カビ菌がついている場合があります。その塗料を容器内の塗料に混ぜ込むと、塗料中にカビ菌が繁殖することがあります。早めに塗料を使い切ってください。
2. 落下によりフタが開いたり、容器が変形することがありますので、容器の取り扱いに注意して下さい。

●この容器は水を大量に含む容器です。水が大量にこぼれれば、大変な被害が生じます。中身の量は正しく注ぎ込んでください。

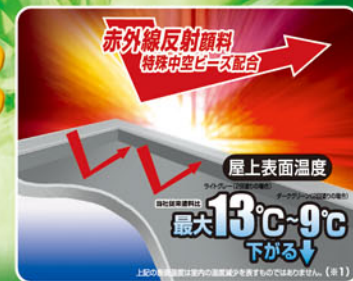


日射反射率
UP!

屋上の表面温度上昇を抑える!

水性 屋上防水 遮熱塗料

コンクリートの陸屋根
コンクリートのベランダ



強化ビニールシート防水面
ゴムシート防水面

10L

- 無鉛塗料 鉛・クロム化合物は使用していません。
- 標準塗り面積(2回塗り) 13~17㎡ 8~10分
- 乾燥時間 夏期/1~3時間 冬期/3~5時間
- 塗り重ねの目安 夏期/2時間以上 冬期/6時間以上
- 水 (50℃以下) 塗りやすいです。

紫外線劣化防止剤 (HALS)配合



日射反射率
UP!

屋上の表面温度上昇を抑える!

水性 屋上防水 遮熱塗料

コンクリートの陸屋根
コンクリートのベランダ



強化ビニールシート防水面
ゴムシート防水面

10L

- 無鉛塗料 鉛・クロム化合物は使用していません。
- 標準塗り面積(2回塗り) 13~17㎡ 8~10分
- 乾燥時間 夏期/1~3時間 冬期/3~5時間
- 塗り重ねの目安 夏期/2時間以上 冬期/6時間以上
- 水 (50℃以下) 塗りやすいです。

紫外線劣化防止剤 (HALS)配合

- 商品名 水性屋上防水遮熱塗料
成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、水
特徴
- 特殊顔料と特殊中空ビーズの配合により高い遮熱効果を実現します。
 - 建築タイプの幅広な防水塗料です。
 - 特殊架橋システム及び紫外線劣化防止剤(HALS)により、耐候性・耐久性に優れた高性能塗料です。
 - シート防水面(防水材)への密着性に優れ、電圧シート、アスファルト系防水面には直接塗装できます。
 - 酸性・中性・塩素系・塩素系に強い塗料です。
 - 色褪せが少なく、乾燥が早いタイプです。
 - 塗料の乾きにより、塗り止め効果ももたらします。
 - 万能ローラーバケで簡単にきれいに塗装できます。

- 用法
- コンクリート陸屋根やベランダの簡易防水・防漏(コンクリート・モルタル・珪藻土)
 - 各種シート防水面(塩ビシート、アスファルト系防水面、強化ゴムシート(EPM)、ウレタン・遮熱防水面、ウレタン・遮熱防水面の一部のものには、塗料が密着しないことがあります)

- 塗料の使い方
1. 表示の用途以外に使用しないで下さい。
 2. 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱ってください。
 3. 塗料が固まると支障がない限り作業して下さい。
 4. 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に、昼間よく晴れて行うして下さい。塗装後1日(夏期)~3日(冬期)以内に乾燥した雨が降った場合は、はくれハガシや塗膜が剥がれる場合があります。
 5. 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間は、5℃以下にならないような温度に保ってください。
 6. 気温が高い(特に夏期)に塗装する場合、塗料の表面が早く乾いてしまうので、何度も塗り重ね(ハケ返し、ローラー返し)をせず、すばやく塗り重ねてください。また、容器内の塗料の乾燥を防止するため、フタは開けたまま放置しないで下さい。
 7. 雨や水洗いの後は、2日以上、下地を十分に乾燥させないで、水分の影響で乾燥が遅れたり、塗膜にひびくを生じることがあります。
 8. あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗装して下さい。シリコン系・フッ素系・その他特殊防水処理をした面や、強化コンクリート・コーキング材・シーリング材、ウレタン・遮熱防水面の一部のものには、塗料が密着しないことがあります。
 9. 表示の色・ツヤは実際のものと多少異なる場合があります。
 10. 陸屋根を塗る場合は、雨のりとごまかすように順序を考えて塗り重ねて下さい。また、転落事故の多いよう十分に注意して下さい。塗料が乾くまでは、たいてい滑りやすいので、塗膜の上を歩かないよう注意して下さい。
 11. 標準塗り面積を守って塗装して下さい。(1回塗り0.3~0.4L/㎡使用します)塗りすぎたり、塗りすぎると塗膜が厚くなり、下地が下地になり、乾燥が早い場合があります。また、塗りすぎると塗膜が厚くなり、下地が下地になり、乾燥が早い場合があります。
 12. 塗装後重いものを置く場合は、7日以上経ってから置くようにして下さい。
 13. 本品は簡易防水塗料ですので、十分な防水効果が得られない場合があります。
 14. 外壁などへの付着防止や、本音を陸屋根などに塗装しても、雨水がしみこみ塗膜がふくれたり雨漏りが止まらない場合がありますので、外壁などの点検補修を行ってください。
 15. 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
 16. 塗料が水で濡れると、流れ色となり塗膜が薄くなる場合があります。
 17. 容器は塗料を使い切った後から捨てて下さい。
 18. やむを得ず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化させて、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

- 安全上の注意
1. 幼少の子どもがいないところに保管し、子供が誤飲・誤食・いたずらしないよう注意して下さい。
 2. 汚れた塗料は、しっかりとフタを閉め、直射日光や5℃以下の場所、容器がさびやすいところを避けて保管して下さい。

危険

- 機器の障害
- 水生生物に毒性

目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

株式会社 ASAHI PAINT 大阪市東区鶴見4-1-12
http://www.asahipaint.jp
お客さま相談 東京 03-5846-9545 / 大阪 06-6934-0300 [日本版]
01-1112